



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 上組

コード番号 9364 URL <http://www.kamigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 深井 義博

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長

(氏名) 岸野 保宏

TEL 078-271-5119

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第1四半期 | 60,042 | △1.0 | 5,594 | △0.9 | 5,941 | △6.5 | 4,070 | △6.9 |
| 28年3月期第1四半期 | 60,656 | 0.1 | 5,646 | △5.7 | 6,354 | 1.2 | 4,373 | 8.1 |

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 2,828百万円 (△44.5%) 28年3月期第1四半期 5,095百万円 (10.0%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 16.25 | — |
| 28年3月期第1四半期 | 17.12 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 29年3月期第1四半期 | 358,081 | 303,017 | 84.6 | 1,209.86 |
| 28年3月期 | 359,942 | 301,944 | 83.9 | 1,205.57 |

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 302,966百万円 28年3月期 301,891百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 6.00 | — | 7.00 | 13.00 |
| 29年3月期 | — | — | — | — | — |
| 29年3月期(予想) | — | 6.00 | — | 7.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 121,500 | 0.0 | 11,300 | 0.8 | 12,300 | 0.8 | 8,300 | 0.2 | 33.14 |
| 通期 | 245,000 | 1.1 | 23,000 | 4.5 | 24,300 | 1.9 | 16,300 | 1.8 | 65.09 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 29年3月期1Q | 274,345,675 株 | 28年3月期 | 274,345,675 株 |
| 29年3月期1Q | 23,932,133 株 | 28年3月期 | 23,930,828 株 |
| 29年3月期1Q | 250,414,009 株 | 28年3月期1Q | 255,418,408 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては景気は回復基調にあるもののアジアにおいては減速傾向が継続し、欧州においても英国のEU離脱問題等の影響を受け不透明感が強まりました。

わが国においては、経済政策の実施により、製造業など大企業の設備投資に緩やかな回復傾向が見られるものの、個人消費は依然として弱含みでの推移となり、盛り上がり欠ける展開となりました。

物流業界におきましては、不安定な為替相場も影響し、輸出入貨物とも低水準な取扱いが継続し、経営環境は厳しい状態に終始しました。

このような状況下にあつて当社グループは、神戸港ポートアイランドの流通加工センターが稼働開始するなど、物流基盤の更なる強化拡大を図り、顧客ニーズを取り込んだ「上組デザイン物流」を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における営業収益は、自動車運送関連貨物や構内作業の取扱い等の減少により前年同期に比べて1.0%減収の600億42百万円となり、営業利益におきましても前年同期に比べ0.9%減益の55億94百万円、経常利益は配当収入の減少などにより6.5%減益の59億41百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に比べて6.9%減益の40億70百万円となりました。

各セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

[国内物流事業]

国内物流事業におきましては、低調な個人消費の影響を受け内需貨物の荷動きが低調となったものの、主力の港湾運送関連業務は微増の推移となり、国内物流事業部門の営業収益は前年同期に比べて1.0%増収の513億39百万円、セグメント利益は0.6%増益の52億32百万円となりました。

[国際物流事業]

国際物流事業におきましては、海外向けプラント貨物の取扱い減少により、国際物流事業部門の営業収益は前年同期に比べて17.3%減収の65億29百万円、セグメント利益は29.9%減益の2億2百万円となりました。

[その他]

その他の事業におきましては、エネルギー関連設備の運搬、据付業務の取扱いが増加となったほか、不動産賃貸事業も堅調に推移したことから、その他の事業部門の営業収益は前年同期に比べて12.2%増収の50億79百万円、セグメント利益は1.1%増益の1億58百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、「現金及び預金」が増加したものの、「有価証券」、「投資有価証券」及び「受取手形及び営業未収入金」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて18億60百万円減少の3,580億81百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、「未払法人税等」及び流動負債の「その他」に含まれる「未払金」が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて29億33百万円減少の550億63百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、「その他有価証券評価差額金」が減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益による「利益剰余金」が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて10億73百万円増加の3,030億17百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、84.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、平成28年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,330 | 32,179 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 41,225 | 40,082 |
| 有価証券 | 23,299 | 9,000 |
| たな卸資産 | 1,142 | 1,026 |
| その他 | 8,831 | 8,030 |
| 貸倒引当金 | △53 | △52 |
| 流動資産合計 | 91,775 | 90,266 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 108,895 | 107,216 |
| 土地 | 92,477 | 92,818 |
| その他(純額) | 20,509 | 23,050 |
| 有形固定資産合計 | 221,882 | 223,086 |
| 無形固定資産 | 8,295 | 8,178 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 28,205 | 26,811 |
| その他 | 10,010 | 9,963 |
| 貸倒引当金 | △226 | △224 |
| 投資その他の資産合計 | 37,988 | 36,551 |
| 固定資産合計 | 268,166 | 267,815 |
| 資産合計 | 359,942 | 358,081 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び営業未払金 | 24,951 | 24,629 |
| 未払法人税等 | 3,918 | 2,252 |
| 賞与引当金 | 142 | 220 |
| その他 | 11,875 | 10,899 |
| 流動負債合計 | 40,888 | 38,002 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | 25 | 26 |
| 船舶特別修繕引当金 | 7 | 8 |
| 退職給付に係る負債 | 15,845 | 15,879 |
| その他 | 1,231 | 1,147 |
| 固定負債合計 | 17,109 | 17,061 |
| 負債合計 | 57,997 | 55,063 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 31,642 | 31,642 |
| 資本剰余金 | 26,854 | 26,854 |
| 利益剰余金 | 259,580 | 261,898 |
| 自己株式 | △19,347 | △19,349 |
| 株主資本合計 | 298,729 | 301,045 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,538 | 3,349 |
| 為替換算調整勘定 | △7 | △99 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,368 | △1,330 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,162 | 1,920 |
| 非支配株主持分 | 52 | 51 |
| 純資産合計 | 301,944 | 303,017 |
| 負債純資産合計 | 359,942 | 358,081 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 営業収益 | 60,656 | 60,042 |
| 営業原価 | 50,693 | 50,180 |
| 営業総利益 | 9,963 | 9,861 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,316 | 4,267 |
| 営業利益 | 5,646 | 5,594 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 24 | 20 |
| 受取配当金 | 476 | 286 |
| 持分法による投資利益 | 90 | 67 |
| その他 | 143 | 69 |
| 営業外収益合計 | 733 | 444 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | — | 94 |
| その他 | 26 | 1 |
| 営業外費用合計 | 26 | 96 |
| 経常利益 | 6,354 | 5,941 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 5 | 31 |
| 補助金収入 | 182 | — |
| 特別利益合計 | 188 | 31 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 17 | 4 |
| 投資有価証券評価損 | 2 | 2 |
| 特別損失合計 | 20 | 6 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,522 | 5,966 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,397 | 2,111 |
| 法人税等調整額 | △249 | △216 |
| 法人税等合計 | 2,147 | 1,894 |
| 四半期純利益 | 4,374 | 4,071 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1 | 1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,373 | 4,070 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 4,374 | 4,071 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 710 | △1,196 |
| 為替換算調整勘定 | △2 | △47 |
| 退職給付に係る調整額 | 13 | 38 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △1 | △36 |
| その他の包括利益合計 | 721 | △1,242 |
| 四半期包括利益 | 5,095 | 2,828 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,094 | 2,828 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1 | 0 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 国内物流 事業 | 国際物流 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 49,425 | 7,415 | 56,841 | 3,815 | 60,656 | — | 60,656 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | 1,381 | 476 | 1,858 | 712 | 2,571 | △2,571 | — |
| 計 | 50,807 | 7,892 | 58,699 | 4,528 | 63,228 | △2,571 | 60,656 |
| セグメント利益 | 5,200 | 288 | 5,489 | 156 | 5,646 | 0 | 5,646 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|------------|------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 国内物流 事業 | 国際物流 事業 | 計 | | | | |
| 営業収益 | | | | | | | |
| 外部顧客への営業収益 | 49,831 | 6,047 | 55,879 | 4,162 | 60,042 | — | 60,042 |
| セグメント間の内部 営業収益又は振替高 | 1,507 | 481 | 1,988 | 916 | 2,905 | △2,905 | — |
| 計 | 51,339 | 6,529 | 57,868 | 5,079 | 62,947 | △2,905 | 60,042 |
| セグメント利益 | 5,232 | 202 | 5,434 | 158 | 5,593 | 0 | 5,594 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、重量建設機工事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額0百万円は連結消去に係る決算調整額です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。